



高齢者の“つながりある暮らし”を支えたい
—住民エピソードからみえたこと—



2021年2月17日

横須賀市

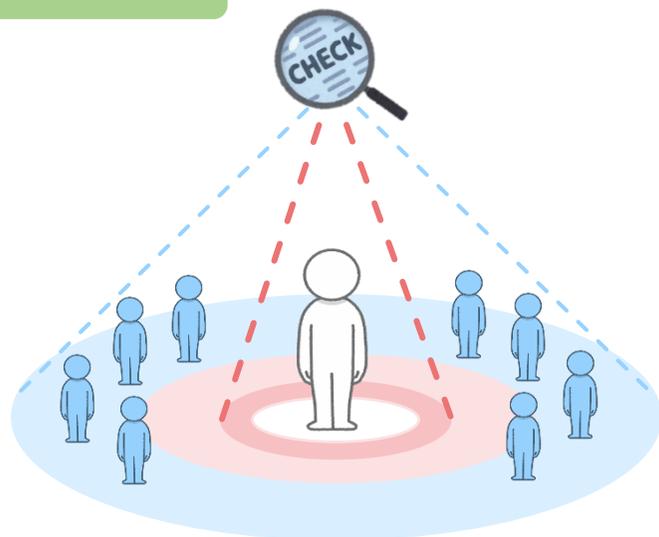
福祉部 地域福祉課 地域力推進係

浅羽 優貴佳





課題抽出の考え方



マクロ

地域全体の高齢者の暮らし

数値でわかること、客観的事実



ミクロ

ひとりの高齢者の暮らし

ストーリーではなくナラティブ
聞き書き、傾聴

課題抽出プロセス

市役所から
飛び出す



積み上げる

聞く



調べる



横須賀市の転出超過について



転入・転出超過数上位20市長村（平成25年）

		(人)		
転入超過数の上位20市町村		平成25年	平成24年	対前年増減数
1	(1) 東京都特別区部 (東京都)	61,281	49,655	11,626
2	(4) 札幌市 (北海道)	10,088	9,108	980
3	(5) 大阪市 (大阪府)	8,729	7,742	987
4	(3) 福岡市 (福岡県)	8,186	9,221	-1,035
5	(7) 川崎市 (神奈川県)	6,929	4,062	2,867
6	(6) さいたま市 (埼玉県)	6,572	4,704	1,868
7	(9) 横浜市 (神奈川県)	5,359	3,235	2,124
8	(8) 名古屋市 (愛知県)	5,229	3,998	1,231
9	(2) 仙台市 (宮城県)	4,772	9,284	-4,512
10	(10) 吹田市 (大阪府)	2,708	2,369	339
11	(25) 船橋市 (千葉県)	2,467	1,138	1,329
12	(1647) 多摩市 (東京都)	2,125	-452	2,577
13	(18) 豊中市 (大阪府)	1,969	1,435	534
14	(11) 藤沢市 (神奈川県)	1,511	2,061	-550
15	(46) 武蔵野市 (東京都)	1,484	809	675
16	(49) 名取市 (宮城県)	1,469	796	673
17	(1675) 柏山市 (千葉県)	1,461	-574	2,035
18	(54) 流山市 (千葉県)	1,392	721	671
19	(12) 川越市 (埼玉県)	1,386	1,825	-439
20	(48) 神戸市 (兵庫県)	1,339	804	535

		(人)		
転出超過数の上位20市町村		平成25年	平成24年	対前年増減数
1	(10) 横須賀市 (神奈川県)	-1,772	-1,173	-599
2	(9) 日立市 (茨城県)	-1,485	-1,174	-311
3	(12) 呉市 (広島県)	-1,373	-1,041	-332
4	(22) 豊田市 (愛知県)	-1,261	-791	-470
5	(8) 長崎市 (長崎県)	-1,244	-1,185	-59
6	(7) 沼津市 (静岡県)	-1,239	-1,439	200
7	(482) 寝屋川市 (大阪府)	-1,192	-133	-1,059
8	(34) 枚方市 (大阪府)	-1,166	-637	-529
9	(13) 釧路市 (北海道)	-1,150	-1,033	-117
10	(32) 函館市 (北海道)	-1,123	-642	-481
11	(17) 下関市 (山口県)	-1,107	-924	-183
12	(47) 北九州市 (福岡県)	-1,080	-559	-521
13	(14) 青森市 (青森県)	-1,023	-1,021	-2
14	(21) 小樽市 (北海道)	-921	-792	-129
15	(33) 尼崎市 (兵庫県)	-910	-640	-270
16	(18) 大東市 (大阪府)	-896	-921	25
17	(27) 室蘭市 (北海道)	-888	-666	-222
18	(19) 鳥取市 (鳥取県)	-881	-862	-19
19	(58) 富田林市 (大阪府)	-879	-514	-365
20	(59) 市原市 (千葉県)	-862	-513	-349

注1) ()内は平成24年の順位。

注2) 東京都特別区部は1市として扱う。

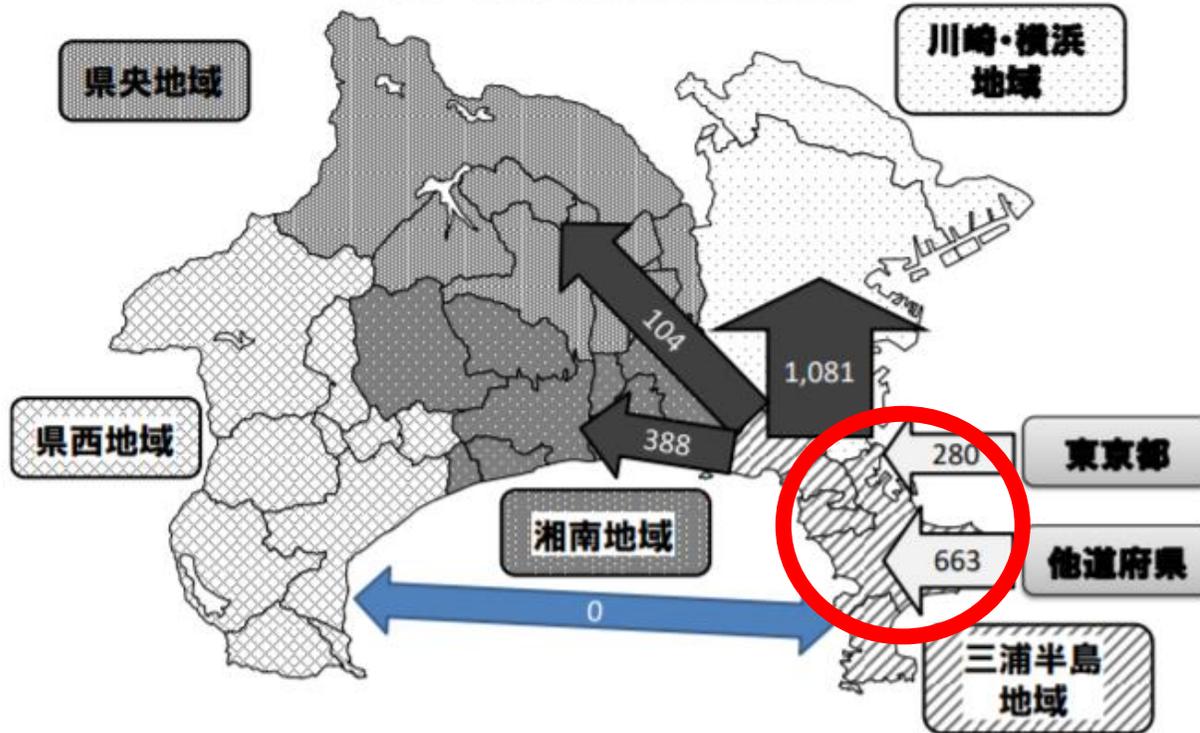
注3) 転入・転出超過数の「-」は転出超過を表す。



《三浦半島地域》… 横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町

社会増減：-630人

図表 18 地域政策種別の人口移動（三浦半島地域）

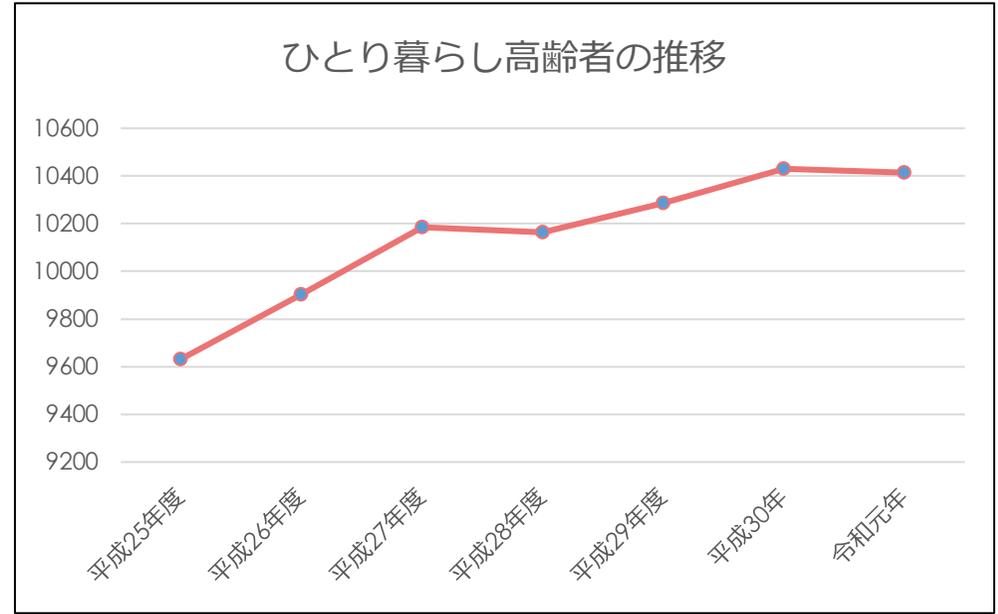
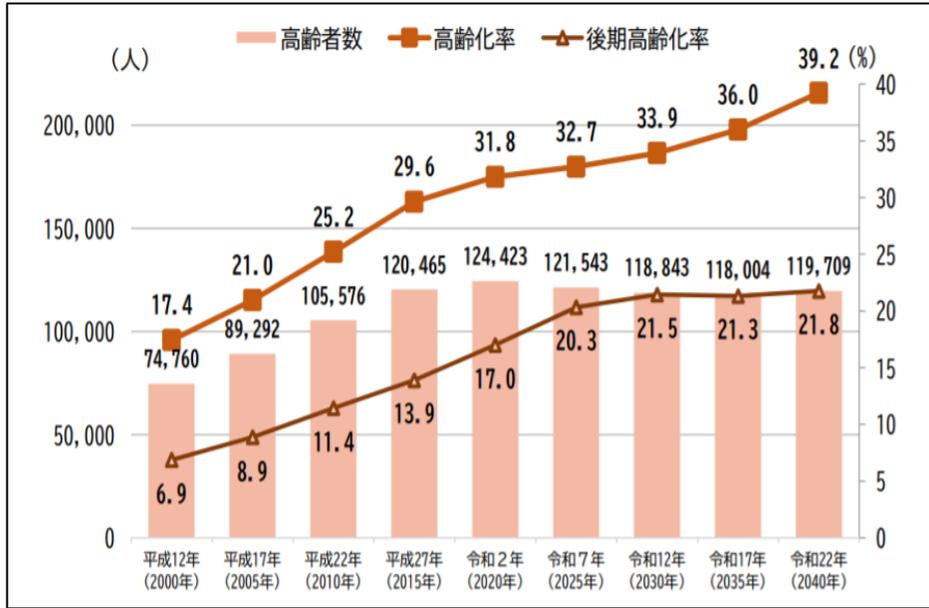


（総務省「住民基本台帳人口移動報告（2018年）」から内閣官房が再集計したデータより作成）

県外からの転入よりも
川崎・横浜地域
湘南地域など
県内移動が増

年齢別では
20～34歳の
東京・川崎・横浜
転出が増

高齢化とひとり暮らし高齢者の増加について



※民生委員を通じて調査票の提出を受けた人数
住民基本台帳におけるひとり暮らし世帯数ではなく
居住実態に基づき登録している。

高齢化率は10年間で17.4%→31.8% (約**2倍**)

ひとり暮らし高齢者の数が**増加**傾向

高齢者2人暮らしの高齢者が、今後ひとりになってしまう可能性も高い



エピソード①「皆さんの暮らしぶりは？」(民生委員より)

駅前マンション

- ・入居者の多くは70代前後で、同じ時期の入居者が多い。
- ・子どもは市外に転居、夫と死別されたひとり暮らしの女性が多い
- ・ひとり暮らし同士で鍵を渡し合い、緊急の時にはそれを使う約束。
- ・毎日のように、オープン前から並んで、みんなでジムに通っている。皆さん健康。

戸建て住宅

①ひとり暮らし男性（70代くらい）

- ・動けているため介護保険は受けておらず、生活保護の受給者でもない。
- ・部屋の片づけが苦手なのか、部屋が汚いが本人には困り感はない。
- ・毎日のように自転車で駅周辺を走っている。
- ・カフェとスーパーに行くのが日課で、お弁当を買ってきて食べている。

②ひとり暮らし女性（80代くらい）

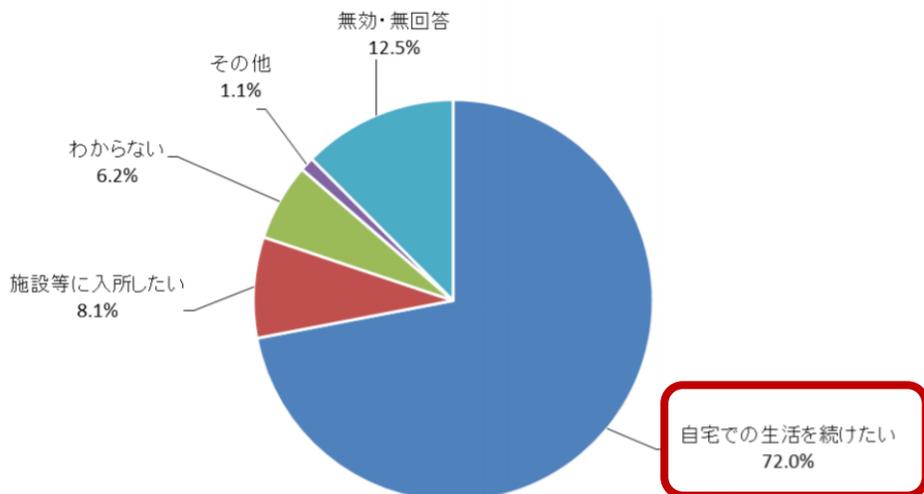
- ・耳が遠く、家族も遠方。
- ・月曜日～金曜日まで毎日何かしら、駅周辺のクリニックにかかっている。

①、②ともに近くの豆腐屋さんがキーマン。

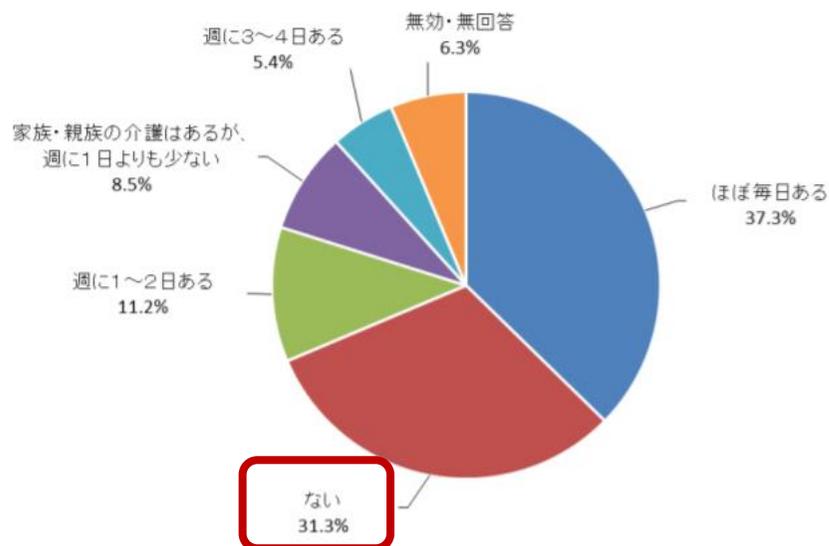
前を通るので、「今日は通ったか？」等、安否確認になっている。



要支援・要介護者が望む暮らし



家族・親族からの介護について



世帯構成



7割が「自宅での生活を続けたい」
6割が高齢者のみの世帯
3割は家族・親族からの介護がない



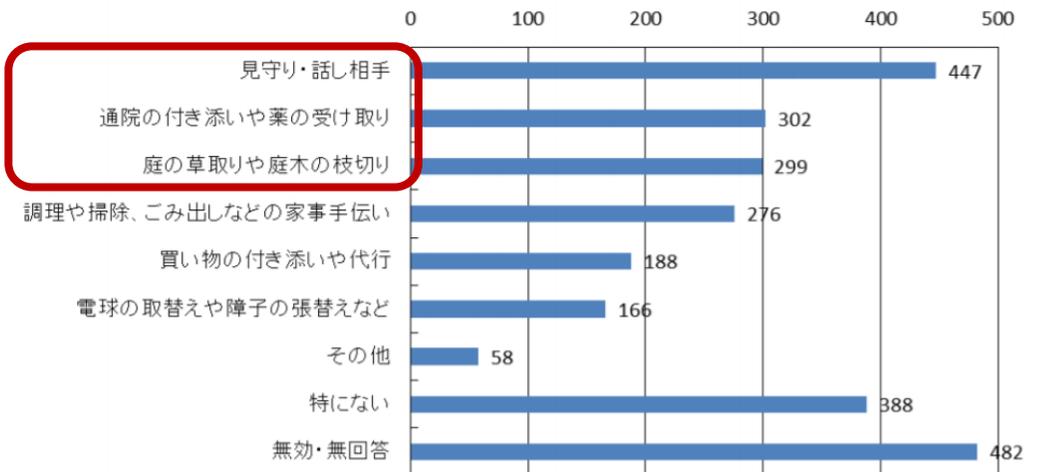
日常生活の小さな困りごとへの支援について、「地域の支え合いで解決できたらいい」ということ
介護を続けていく上で、「地域の方の助けがあったらいい」ということ

要介護認定を受けていない 高齢者が思うこと



回答者数: 1609名 件数=2880件

介護者の家族が思うこと



回答者数: 1718名 件数=2606件

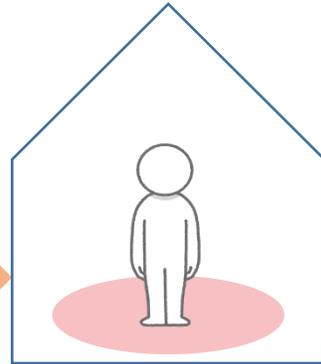
「見守り・話し相手」、「庭木の草取り・枝切り」
「家事手伝い」、「通院付き添いや薬の受け取り」が上位



生活支援団体取材

民生委員

生活支援団体



86歳女性宅

牛乳屋さん



- ・相談相手
- ・電球交換
- ・スマホについて

移動スーパー取材



利用者の声

- ・トンネルを越えて、スーパーに行くのは大変
- ・外に出るのは気持ち良い。人に会えて嬉しい。
- ・近所の人に声をかけてあげるの。

ドライバー

- ・耳の遠い方へは電話で合図。ゆったり見守る。
- ・ドライバーが増えれば販売エリア拡大したい。



「気にかけてあい」や「つながり」が
高齢者のいきいきとした「暮らしの支え」になっている。

- 息子・娘は市外に転居
- 高齢者は「自宅での生活を続けたい」と願っている
- 見守りの「システム」には限りがある
- 見守り協定で機能するのは「定期的な訪問」が必須
- 町内会・自治会は加入率が低下傾向
- 民生委員が担当するひとり暮らし高齢者が増加
- ボランティアセンターは人手不足
- 生活支援団体、老人クラブ友愛チームはあるけど…



宅配弁当、牛乳屋さん、豆腐屋さん、管理組合、移動スーパー、
まちの保健室、交流づくりのボランティア、情熱をもった若手経営者の皆様



つながりのある暮らしで**高齢者**が**安心**して住み続けられるまち



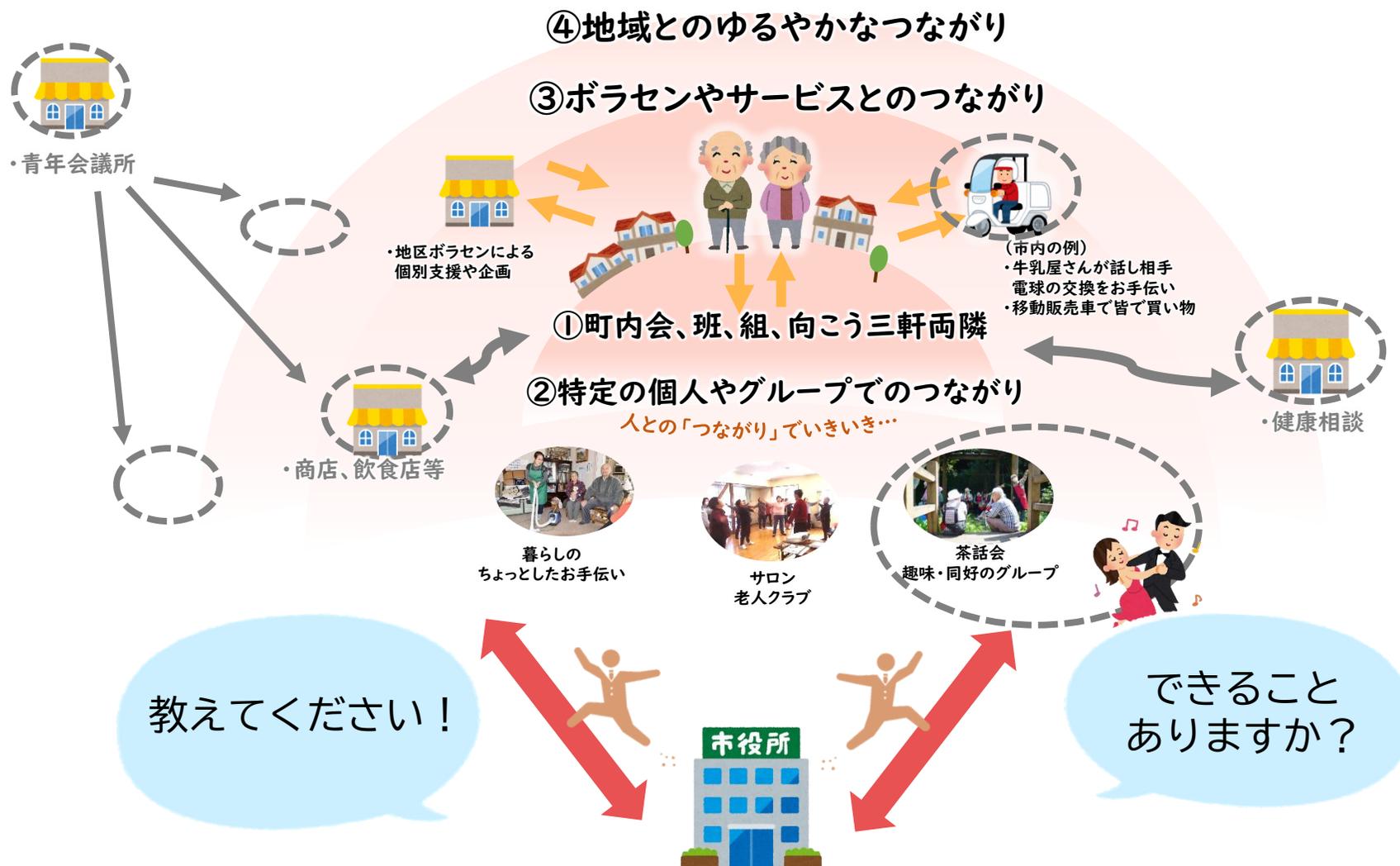


- (1) 高齢者を気にかける仲間の拡大 (すでにある取組の発見)
- (2) 高齢者の外出機会の創出 (行きたいと思う取組作り)
- (3) 高齢者のつながり作り (活動したい人、参加したい人のマッチング)





まちづくりのパートナーへ





熱い想いを実現に



ご清聴
ありがとうございました

